

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

# 三春わが街

MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU MY HOME TOWN MIHARU

## ■コミュニティだより

VOL. 70 (年4回発行)

■発行日 平成26年1月1日  
 ■発行 三春まちづくり協会  
 ■編集 三春まちづくり協会広報部会  
 三春町大字貝山字泉沢100-1 (旧若駒寮)  
 TEL/FAX (62) 3988

## 平成二十五年度 まちづくり懇談会

十一月十三日、三春交流館まほらのホワイエで、約五〇名の参加者を得て、平成二十五年度まちづくり懇談会が開催されました。

■鈴木町長あいさつ

三春まちづくり協会の日頃の活動に敬意を表したい。三春地区でも仮置場が決まり、造成工事を進めている。これから除染の実地調査、本格的な除染と進んで行くので、皆様方のご協力をお

願いたい。

■佐藤副議長あいさつ

日ごろより議会に対してのご支援に感謝したい。今日は町議会議員も多数参加しているのので、この懇談会で町民の皆さんの多くの声を聞かせていただきたい。

### 新年のあいさつ



三春まちづくり協会長 幕田勝寿



新年明けましておめでとうございます。今年もよろしくお願ひ申し上げます。平成二十六年も各部長さんを中心に会員皆様のご協力により、各事業等も続けてお願ひを致します。全体事業等も役員皆様のお力添えで、あじさいの下草刈り、又、視察研修などに多くの方に参加をいただきましてありがとうございます。特に、第十回の三春秋まつりにも町内外の方が参加された石柱、拓本ラリーにもたくさんの方々の参加ありがとうございました。

また、三春地区のまちづくり懇談会には、いままでない多くの出席をいただき誠にありがとうございます。今後まちづくり協会の役員、会員皆様のご指導、ご協力をいただき、街づくりにがんばってまいりたいと考えております。年頭にあたり皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます、ご挨拶いたします。

町役場の出席者から自己紹介があり、その後、各課から次の各項目について説明がありました。



- 町からの主な説明事項
  - ①東日本大震災に係る長期避難者等の生活拠点の形成について (総務課)
  - ②平成二十五年度三春町の財政状況について (総務課)
  - ③三春町役場庁舎整備検討基本計画について (財務課)
  - ④除染の実施状況について (除染対策課)
  - ⑤確定申告受付会場が変わります! (税務課)
  - ⑥にこにこ元氣塾の参加募集について (保健福祉課)
  - ⑦平成二十五年度米の全量全袋検査について (産業課)
  - ⑧1級河川桜川河川改修事業等について (建設課)
  - ⑨平成二十六年度から平成三十一年度就学児童(予定)数について (教育課)
  - ⑩三春町議会議員名簿、委

### 員会構成等について

- ⑪ふくしま駅伝の開催について (生涯学習課)
- ⑫その他 (産業課)

第十回三春秋祭り (産業課)

会場からの主な質問と回答については次の通りです。

▼役場新庁舎の建設場所について  
 ▼場所の選定については検討委員会での議論等をふまえ、現在の駐車場に設置することが最適と考えられている。

▼中学校の通学路の街灯を増やしてほしい  
 ▼すでに何ヶ所か設置している。これから暗くなるのも早くなるので、出来ることから設置していく。

▼桐屋さんの蔵から御免町方面へ抜ける道について  
 ▼一の蔵、二の蔵、三の蔵の整備を順次進めている。

▼仮設住宅の人たちと三春町民の交流について  
 ▼春まつり、秋まつり、町の

▼松橋地区の河川が合流する場所で、大雨の際、鉄砲水のようになっており、危険になっている。被害の状況は把握している。御祭川は県の管轄な

ので県に改修を要望している。

▼町営野球場の放射線量はどれ位か  
 ▼0.23μSv/時を下回っている。

▼新庁舎建築の資料の専門用語について  
 ▼設計施工分離方式、分割発注、公募型条件付プロポーザル方式について解説。

▼除雪の基準は  
 ▼積雪が十五センチ以上で更に降り積もる場合に実施している。幹線道路から先に実施するので、小さな道路まで除雪するには時間がかかる。業者さんの除雪車両の台数も減っている。

▼町の人口を増やすには  
 ▼定住促進計画など各課で施策を考え、実行している。これ以上人口を減らさないよう実態調査も進めている。復興需要で土地、住宅の動きも出てきている。



イベントにも参加してもらい、交流を深めている。

▼就学児童数の資料を載せているのは、小学校再編をふまえてのものか  
 ▼毎年、情報の提供という意味で載せている。小学校の再編などについては住民との話し合いが必要。

## 町会議員との懇談会

「町民と議会の協働を目指すため」等について

○日時：2月13日(木)

○場所：三春交流館「まほら」

《町民のみなさん、どなたでも参加できます!》

# 協会活動だより

## 全体事業

### 「三春秋まつり」へ 地区の石柱全基集合！

(街並部会長)

佐久間保一

去る十一月九日、十日、第十回「三春秋まつり」が町貝山総合グラウンド駐車場を中心に、町営体育館、新築なった三春中学校の体育館や校庭等を会場に開催され、まちづくり協議会も協賛事業として参加しました。

三春まちづくり協会は、街並部会が十数年継続して取り組んでいる史跡や地名の石柱設置事業の概要と設置した全三十三基の石柱の写真をパネルにして展示し、多くの町民の皆さんに知ってもらおうと、三春の歴史を築いた先人達の息吹を感じていただく企画で参加しました。併せて、現地で石柱に接し親しんでもらうため「石柱拓本ラリー」を同時に開催しました。



## 研修「真壁町視察」報告

(街並部会) 中村 利孝

今年度の協会視察研修の行き先は、茨城県桜川市真壁町。江戸、明治、大正とこの地は木綿、製糸、酒造石材と、地域経済の中心地として繁栄した。そこで商人たちは競って蔵を建てた。見世蔵、土蔵、石蔵、塗屋、薬医門、板塀など300余棟を数えるほど。それらは登録文化財として認められ、また国の重要伝統建造物群保存地区にもなっている。

大震災などで傷んだ建造物の補修工事が見受けられたが、街並は落ち着いた雰囲気になり進んでいる。

## 寄せられた感想

☆震災により富岡町から三春町に避難して2年8カ月になります。

三春町さんには大変お世話様になっております。今まで町内を歩いていて石柱を見ておりました。初めての石柱拓本ラリーに参加出来てありがたうございました。歴史ある三春城下町を廻って散策が出来た事が大変うれしく、勉強になりました。江戸時代の生活を想像しながら歩きました。又、説明が書いてあったのでわかりやすく良かったです。この後の拓本ラリーがたのしみです。ありがたうございました。(林 タカ子さん)

☆たくさん石柱があったんですね。ふだん気がつかない場所の歴史にふれることができて良かったです。

☆昨年引き続き三春在住の父母と福島在住の私達(小学生男子二人)と参加しました。今回は「鉄砲場」の石柱を皮切りに「弓場」を捜し「八十内」と歩いてみました。公園の中の枝垂れ桜が見事な大木で、春には是非花見に来たいねと子どもたちと話し合いながら帰りました。



真壁町旧家

様子だった。工事費の1割負担で改修出来ると聞いて驚いた。

静かな街を行くと「どちらから」と声がかかり「三春」と答えると「行ってきましたよ、滝桜は素晴らしいです」と。相変わらず滝桜は有名人？と感心。

近くには、加波山、筑波山と山並みが続く。加波山の山肌が白く見えるのは石切り場で、町の中に石材業が目立つのも納得。

加波山といえば「加波山事件」が思い出される。明治一七年秋、河野広中たちに対する、県令三島通庸による弾圧を不服とした三春をはじめ若き民権志士が、加波山山頂に「自由の魁」のノボリを翻し蜂起した。

琴田岩松(亀井・22歳)、河野躰(大町・19歳)などが、今から129年前に死を決して全国同志蜂起を促したのである。(尚、彼等の名譽は明治43年に至って回復され、警州通りに顕彰碑が建っている。)

帰路は、那珂湊で海産物などお土産を買って帰りました。となると、内藤

忠さんの発案で素晴らしい寄り道を体験した。

「那珂湊反射炉跡」である。幕末、那珂湊にも異国船が出没するようになり、欧州列強が開国を迫って来ていることを察した水戸徳川の名君斉昭が、大砲製造を目的として二年がかりで完成した大型金属溶解炉である。建設に当たっては、薩摩藩士大島高任、南部藩士竹下矩方とともに三春藩士熊田宗弘が協力したとある。



那珂湊反射炉跡にて

今回の研修は、海外旅行で逆に日本を知らされたような、茨城に行つて三春を学んだ一日となった。

## 街並部会

渡辺 勝雄

「蔵と古い建物の活用」を視察する目的で研修に参加しました。

まず訪れたのが保原町の旧亀岡家住宅で、蚕種製造などで財をなした豪農の住宅です。外観は洋風、内部は純和風の書院造りで、建材には紫檀や鉄刀木など贅

を尽くしていました。次に見学したのは、丸森町にある斎理屋敷です。江戸時代後期から続いた豪商の屋敷で、居宅の他に店蔵をはじめとして、十三もの蔵が建ち並び、昔の豪商の暮しを彷彿とさせるものがありました。

次いで訪れたのが、愛姫の夫独眼竜政宗の霊屋である瑞鳳殿です。桃山様式の豪華絢爛な廟建築と、資料館に展示された副葬品を見て、六十二万石の藩祖の力を見せつけられました。

二日目は、まず瑞巖寺へ行きました。特別公開だったので、庫裏と大書院を初めて見学することができました。幸運なことに、愛姫の墓堂の陽徳院御霊屋(寶華殿)も特別公開されていたので、三春の一町民としてお参りして来ました。



亀岡邸にて

最後に、村田町へ行き、歴史みらい館で説明を受け、蔵の街並みを散策しました。村田は紅花の商取引で賑った町と知り驚きました。当時の豪華を伝える豪華な店蔵と門が一對になって連なる景観はみごとで、非常に印象的でした。

## 環境部会

通学路放射線量の調査を実施

(環境部会長) 橋本 啓松

環境部会では、今年度の活動目標の一つに、原発事故による町内通学路の放射線量の測定をあげ、昨年度の結果との比較をして機関紙、隣組回覧等で発表する事を掲げました。

調査の概要は、昨年と出来るだけ同地点の測定をして比較する事とし、皆様方に解り易くお知らせしたいと考えました。結果としては、昨年度より約22%減少の結果がでしたが、場所により上昇が測定された所もあり、下がった地点でもその周辺の植込み、雑草地、側溝、集水枡等に高線量の所があります、ご注意ください。今回の調査結果、最小値は0.12μSv/時、最大値は0.36μSv/時でした。目安とされる一時間当たり0.23μSvを上回る所があり、今後の除染作業が待たれるところです。

尚、調査箇所ごとのデータ等については、地区隣組を通して回覧しますので、ご覧ください。

コミュニティだより 「三春わが街」第七十号 発行日 平成二十六年一月一日 発行 三春まちづくり協会 編集 三春まちづくり協会 広 報 部 会 三春町本庁出雲二〇一(六二) 三九八八